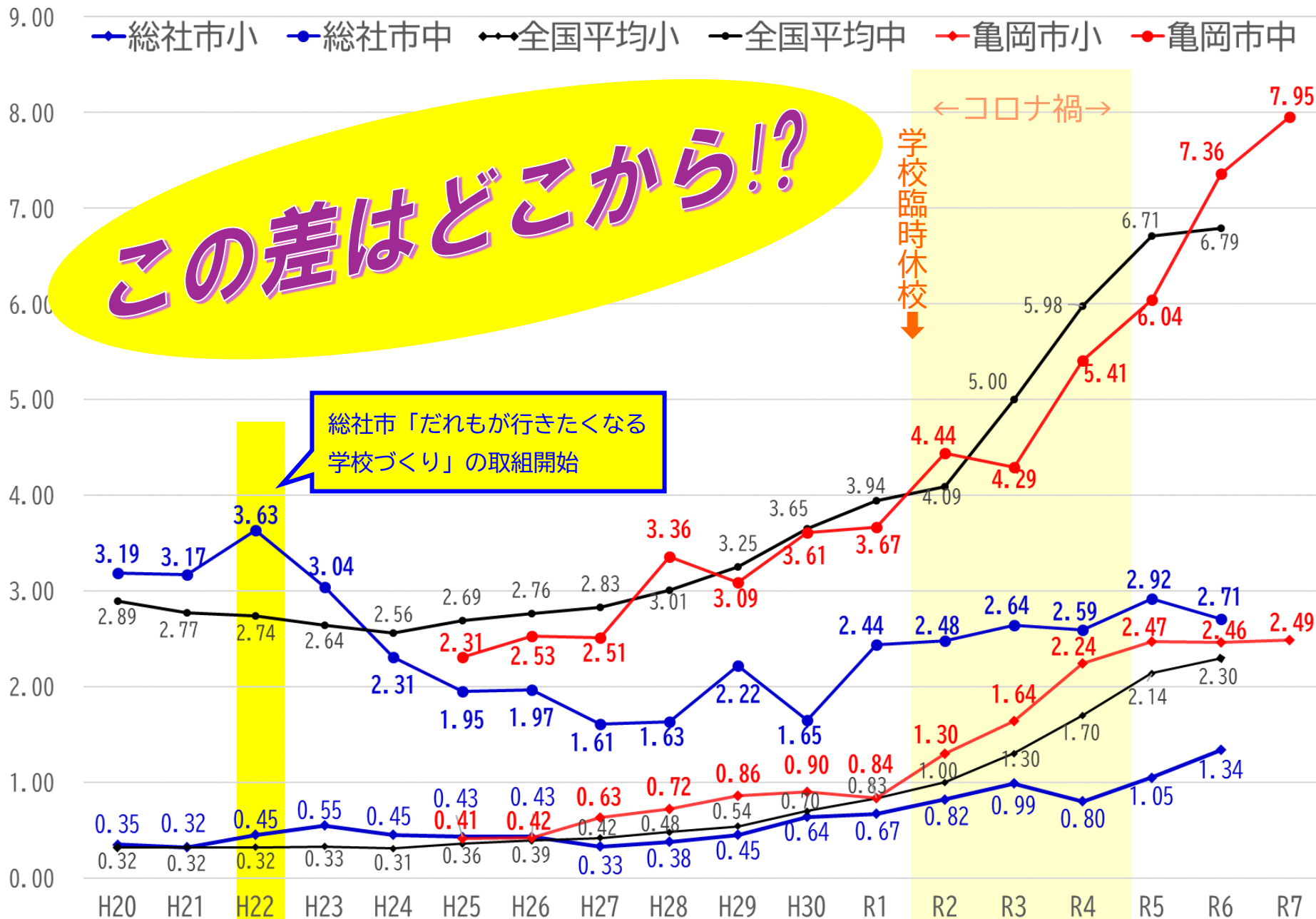


三上議員

説明資料

三上泉 一般質問資料その① 不登校出現率 (%)



総社市の「だれもが行きたくなる学校づくり」とは

※不登校出現率が全国平均をはるかに上回ったことに危機感を持った教育委員会は、数多くの大学関係者から教育理論を学び、すべての学校・児童・生徒への指導に生かし、共同研究を行った。不登校出現率が減少するだけでなく、暴力行為件数、いじめ認知件数でも全国平均を大きく下回っている。

総社市が連携した大学関係団体

(三上調べによる)

- ・広島大学大学院教育研究科
- ・岡山大学大学院教育研究科
- ・奈良教育大学大学院
- ・山口大学教育学部
- ・県立広島大学総合教育センター
- ・弘前医療福祉大学保健学部
- ・早稲田大学大学院教職研究科
- ・大阪市内中学校校長
- ・梅光学院大学子ども学部

※他にも連携されている大学等があると推測されます。

「だれもが行きたくなる学校づくり」の基盤理論

➔ マルチレベルアプローチ (包括的生徒指導)

すべての子どもに
一次支援

すべての子どもに
自分でできる力を

気になる子どもに
二次支援

登校しぶりや学習意欲の低下
などハイリスクの子どもに
友だち同士で支える力を

要支援に
三次支援

特別な支援を要する子どもや課題の
ある子どもを教員や専門家が
チームで支援を

総社市はこれを充実

子どもたちが平和的で民主的な人間関係を築き、社会を形成できるように育てる

一般的に「不登校対策」というとこれになる

「だれもが行きたくなる学校づくり」の4つの柱

●ピア・サポート（支持的風土のある集団づくり）

➔ 異校種、異年齢交流等を通じたサポート活動（お世話活動）

※学級だけでなく、学年、校種を超えた支え合い活動

※縦割りでの班掃除、学校探検、テスト前のアドバイス、各種学校行事の相互参加

※中学生が小学校や地元の保育所・幼稚園を訪問、陸上講習会、中学生と語る会

※小学校の合同授業など

●SEL（Social and Emotional Learning）（社会性と情動の学習）

➔ ソーシャルスキルだけでなく、グループエンカウンター、性教育、交通安全教育
ストレス（アンガー）マネジメントなどを、就学前から中3生まで全員に実施する
年齢に応じた年間計画を立てて年間10時間以上実施する

●協同学習（すべての授業で、班で協力して学習に取り組む活動）

➔ 話し合い活動・学び合い活動で、「感情の交流」「役割の交流」「思考の交流」を
※班は3～4人をめやすに、役割を決めて活発なコミュニケーションをとる

●品格教育/PBIS（Positive Behavioral Interventions and Supports）

（よい行為を知り、望み、実際に行うことで自分の生活をよい方に導く）

➔ 保護者8,000人のアンケートをもとに市全体で月別テーマを設定（よい行動を褒め合う）

（例）4月あいさつ➔5月責任➔6月思いやり➔7月正直➔8月（学校独自）➔9月やりぬく心➔10月ふるさと愛

SELプログラム例

【小学校3年】

- ①いろいろな気持ち
- ②わくわくとがっかり
- ③不安とリラックス
- ④感情を知る手がかり
- ⑤ムカムカ気持ち
- ⑥感情のコントロール
- ⑦聴き方（傾聴）
- ⑧アサーション
- ⑨断り方
- ⑩問題解決

【中学校2年】

- ①いろいろな気持ちの表現方法
- ②感情を知る手がかり
- ③気持ちについて
- ④ストレス対処法
- ⑤聞き方
- ⑥断り方・頼み方・指示の出し方
- ⑦様々な解決方法・結果の予想
- ⑧問題解決

PBIS＝行動強化
肯定的な行動介入と支援

「だれもが行きたくなる学校づくり」の推進

- 校園長会のもと推進者・リーダーが推進
- 市教委主催の「だれ行き」研修会実施
- 保・こ・幼・小・中連携の合同研修（年5回程度）
- 効果を測定するための指標づくり

★学校適応感に関するアンケート（アセス）

（A S S E S S :Adaptation Scale for School Environments on Six Spheres）

➡「6領域学校適応感尺度」

「生活満足感」＝生活全般に満足していると感じている。

「教師サポート」＝教師から適切なサポートを受けていると感じている。

「友人サポート」＝友人から適切なサポートを受けていると感じている。

「非侵害的関係」＝友人からいじめやかからかいなどを受けていないと感じている。

「向社会的スキル」＝教師や友人に対して積極的に働きかけていると感じている。

「学習的適応」＝学習に対する不安が少なく、授業についていけていると感じている。

※取組を通じてのアセス（小3～中3）の測定平均値は、H22年からR6年で徐々に上昇

★児童生徒の不登校出現率

★各校児童生徒の総欠席日数

前ページの**品格教育**

【言葉】

自分の**考え**に気をつけて
考えは**言葉**になるから

【行動】

自分の**言葉**に気をつけて
言葉は**行動**になるから

【習慣】

自分の**行動**に気をつけて
行動は**習慣**になるから

【品格】

自分の**習慣**に気をつけて
習慣は**品格**になるから

【運命】

自分の**品格**に気をつけて
品格は**運命を創る**から

総社市の「だれもが行きたくなる学校」とは

勉強が苦手でも
運動が苦手でも
人がいっぱいいるのが苦手でも
友達関係が苦手でも
障がいがあっても
外国人で言葉が不慣れでも
家庭環境に課題等があっても…

「大丈夫？」と
声をかけてくれる子がいる学校

総社市では、この「だれもが行きたくなる学校づくり」プログラムの推進に、ほとんど予算をかけることなく、着実に成果をあげています